



「魅力的な街づくり」を使命としたコンサルタントです

○本社所在地：東京都台東区台東4-29-8
こうしんビル6階

○事業概要：区画整理に関する業務、市街地再開発事業、開発行為、都市計画に関する調査・計画・設計及び市場調査業務、土地活用コンサルティング、不動産の仲介並びに所有管理、測量業務一般

○常時使用する従業員：51名（2024年9月期）

○現在の売上高：15億円（2024年9月期）

○法人番号：7010501030612

○Web：https://support-corp.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
鈴木 敦司

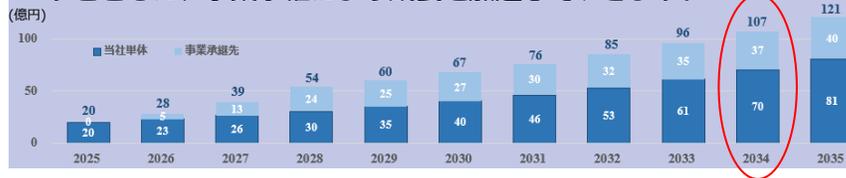
想いを結び 明日へとつなぐ まちづくり

私たちは、地権者の皆様の不動産の可能性を最大限に引き出す「想いを結び、明日へとつなぐまちづくり」を使命とします。次世代のまちづくりのスタンダードを築くビジョンのもと、パイオニア精神と実現力を活かし、コンサルタントとして新たな地位を確立します。すべての関係者の物心両面の豊かさを追求し、プロフェッショナル集団として安心と確実性を提供。行政の政策実現に貢献し、100億円の目標達成を通じて、魅力的なまちづくりを実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高100億円達成に向け、年率20%程度の成長を目指すとともに、事業承継により成長を加速してゆきます。



課題

- 顧客紹介制度の構築と自主的な営業力強化
- 新規エリアでの知名度向上と地域特有の規制対応
- 大手クライアントとの入札競争力と提案力強化
- 新領域のノウハウ蓄積と既存事業とのシナジー構築
- 専門人財の確保(シニア活用含む)と若手の定着率向上による育成最適化
- M&A後の企業文化・システム統合と資金調達による円滑なPMI
- 規制変更や競争激化への対応

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 事業展開の拡大：「仕事が仕事を呼ぶ企業へ」
首都圏強化後、1年後に関西圏・地方中核都市圏へ進出し、スマートシティ・再開発参入
- 収益ポイントの拡大：「新たなコンサルポジション確立」
オンライン・セミナーで地権者信頼構築、不動産管理・データコンサルで収益創出
- 高い生産性の実現：
GIS・AIで効率化、利益率5年後8%、10年後10%へ
- M&Aの積極推進：
測量・建築設計企業買収、PMIで人財・技術統合し成長加速

実施体制

- PPP・受益者負担モデル標準化、地権者説明会で大手クライアント受注拡大
- スマートシティ・防災減災サービス開発、大学・テック企業と連携
- 区画整理から再開発・開発へ移行、地域営業と規制専門家で新エリア対応
- 成果連動型報酬を構築、不動産管理・データコンサルでシナジー創出
- 測量・建築設計企業M&A、キャリアパス提示・統合研修で従業員定着、関西圏・地方中核都市での営業網構築
- 地権者向け定期報告会を開催し信頼関係強化

SDGsで未来を切り開く！ 売上100億円の挑戦

地権者とともに持続的な街づくりを実現する「タウンマネジメント (ワンストップ)」のオンリーワン企業へ

コンサルタントの新たなポジションを築く
 新たな収益形態を構築し会社の成長と社員の物心両面を豊かにする



パイオニア精神で新たなスキームで実現するまちづくり
 時代の変化に合わせたタウンマネジメントによる高い実現力



地権者とともに実現するまちづくり
 真のアセットマネジメントとなり、持続的に住み続けられるまちづくりをサポート



次世代に繋がるまちづくり
 地権者の次世代、地域社会の将来に残せるプロジェクトマネジメント



地権者を起点とした三方よしのまちづくり
 地権者や地域社会に寄り添い、自治体、開発者とも連携したコモンズマネジメント



不動産ポテンシャルを最大化する
 ポテンシャルを最大化し、時間（資金）コストを最小化するプレイスメイキング



当社が掲げる「地権者とともに持続的な街づくりを実現する『タウンマネジメント (ワンストップ)』のオンリーワン企業へ」というスローガンは、SDGsの多岐にわたる目標と深く結びつき、持続可能な社会の実現に貢献する強い決意を示しています。

- ◆ **コンサルタントの新たなポジションを築く (SDGs8 : 働きがいも経済成長も) :**
 従来の不動産コンサルティングの枠を超え、地域特性や地権者の意向を深く理解した新たな専門職を創出します。これにより、新たな雇用機会が生まれ、コンサルタント自身の専門性向上と経済的安定に繋がり、ひいては地域経済の活性化にも貢献します。これは、質の高い雇用創出と持続的な経済成長を目指すSDGs8の達成に寄与します。
- ◆ **パイオニア精神で新たなスキームで実現するまちづくり (SDGs9 : 産業と技術革新の基盤をつくろう) :**
 画一的な再開発ではなく、地権者との綿密な対話を通じて、それぞれの土地が持つ固有の価値を最大限に引き出す革新的なタウンマネジメント手法を開発・実践します。これにより、持続可能で強靱な都市インフラの整備を促進し、新たな産業やサービスの創出を支援するSDGs9の目標達成に貢献します。
- ◆ **地権者とともに実現するまちづくり (SDGs11 : 住み続けられるまちづくりを) :**
 単なる不動産管理に留まらず、地権者の長期的な視点に立ち、世代を超えて住み続けられる魅力的な街づくりを共同で推進します。真のアセットマネジメントを通じて、地域の文化や歴史を尊重し、安全で快適な住環境を提供することで、SDGs11の「包摂的、安全、強靱かつ持続可能な都市及び人間の居住地を実現する」という目標に貢献します。
- ◆ **次世代に繋がるまちづくり (SDGs12 : つくる責任 つかう責任) :**
 現在の利益だけでなく、将来の世代への影響を考慮した持続可能な街づくりを推進します。省エネルギー設計や自然環境との調和、資源の有効活用などを重視したプロジェクトマネジメントにより、環境負荷を低減し、次世代に豊かな地域社会を引き継ぐ責任を果たします。これは、持続可能な消費と生産のパターンを促進するSDGs12に貢献します。
- ◆ **地権者を起点とした三方よしのまちづくり (SDGs16 : 平和と公正をすべての人に) :**
 地権者の意向を尊重し、地域住民、自治体、開発者といった多様なステークホルダーとの円滑な連携を図り、透明性の高い三方よしの合意形成を目指します。公平なプロセスを通じて、誰もが取り残されない、平和で公正な社会の実現に貢献するSDGs16の理念を体現します。
- ◆ **不動産ポテンシャルを最大化する (SDGs17 : パートナリーシップで目標を達成しよう) :**
 それぞれの不動産が持つ潜在的な価値を最大限に引き出し、時間と資金というコストを最小限に抑えるプレイスメイキングを通じて、効率的で持続可能な都市開発を実現します。多様な専門家との知識や技術の共有、連携を通じて、SDGsの目標達成に向けたグローバル・パートナーシップを強化するSDGs17に貢献します。